27









Ladies'Dressmaking
洋裁

注文服の合理的製法に注目10時間でジャケットを制作

高度な技能からつくりだされる婦人服デザイン画と仕様書に基づき、支給された材料を裁断、縫製、アイロンがけして、2日間かけてジャケットを制作する競技です。10時間という制限内で、シルエット、身ごろ、えり、そで、手まつり、糸くずや汚れ、安全衛生・作業態度、全体の仕上げといった採点項目で競い合います。国際大会のルールに近づけるため、衿と袖口のディテールデザインは当日発表し制作する課題です。



＜2025年大会 競技課題＞

競技職種と生活との関わり

日常生活から、結婚式などの各種パーティーの場に至るまで、女性のおしゃれ心を満たしてくれる婦人服。季節や場面に応じて様々な素材、色、デザインで、個性や魅力を引き立たせています。洋裁職種とは、このような美しさ、心地よさ、機能性などを兼ね備えた婦人服をオーダーメイドで作り上げる高度な技能が求められる職種です。時代の流れと共にファッションは限りなく変わり続けます。婦人服と共に歩む技能者の未来も、限りない可能性に満ちています。

当日課題はどちらか？
細かいデザインを素早く美しく仕上げる

身体のラインにそってウエストラインを絞ったシルエット、それぞれの線を、左右均等に仕上げる技術が求められ、身頃のシルエットや袖の形状はアイロンでのくせとりで美しい形に仕上げます。素材・色・デザインと変化の多い婦人服は、確かな技術・技能のもと手作業で課題をクリアしていかなくてはなりません。

高橋 良人 主査　洋装たかはし



前回大会金メダリストからメッセージ！

［所属：専門学校岡山ビジネスカレッジ］

池田 万桜 さん

この大会の魅力は、若い世代の人たちが色々な職種で輝けることだと思うので、自分たちの力を信じて頑張ってください！



前回大会金メダリストインタビュー！